



学校教育目標 家庭や湯川地域と連携し「豊かな心とたくましい体を持ち、自ら学び自ら考え、よりよい生活を創り出していく子ども」を育てる。

湯川小だより

北九州市立湯川小学校
発行者 校長 加来 和久

四つのこだわり（あいさつ・時間・そうじ・くつばこ整理）

平成30年11月5日 発行 NO.10

めざす子ども像 ○ 明るい心をもった子ども ○ 考えることを楽しむ子ども ○ 元気な体を作りだす子ども

在籍児童 たんぽぽ10名 1年83名 2年100名 3年85名 4年77名 5年87名 6年93名 19学級525名

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

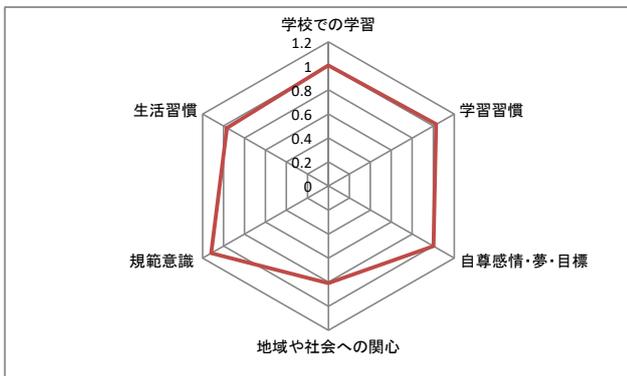
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析(傾向や特徴) | 全国平均正答率との比較 |
|-------|--|-------------|
| 国語A | 資料から目的に応じて必要な情報を捉えて読んだり、自分の想像したことを表現するために文章全体の構成を考えて書いたりすることに課題がある。大切なところに線を引いたり、自分の考えを分かりやすく伝えるための文章構成を意識して書く習慣を付ける必要がある。 | 上回っている |
| 国語B | 計画的に話し合うために、司会の役割を理解したり、話し合いの参加者として質問の意図を捉えたりすることに課題がある。 | 下回っている |
| 算数A | 数と計算や数量関係の問題に課題がある。問題文を今までに学習したことを基に図や表等に自分で表して考える習慣を付けさせる必要がある。 | 下回っている |
| 算数B | 図形の問題に課題がある。正三角形、平行四辺形、円等の図形の性質を理解させるとともに図形の組合わせ等、問われている条件を正確に読み取る力を付けていく必要がある。 | 下回っている |
| 理科 | 観察・実験の技能に課題がある。観察や実験の目的を理解し、それに合った方法を自分で考える力を付ける必要がある。 | 同程度である |

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



| 質問紙調査の結果分析 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 学校のきまりを守っている児童の割合が高く、全国平均よりも上回っている。「湯川小4つのこだわり」を全教職員で取り組んでいる成果であると考える。 家で学校の宿題をしている児童の割合100%であった。児童への声掛け等、家庭での協力が大きいと考える。 地域や社会への関心や地域の行事に参加している児童の割合が低かった。実際に地域やPTAの行事に参加している児童の割合は高く、児童の認識を高めていく必要がある。 朝食を摂っていない児童の割合が1割、毎日同じ時刻に就寝していない児童の割合が3割弱であった。 |

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○ 資料から必要な情報を取り出し、まとめたり自分の考えを説明したりする力を付けるために、物語をたくさん読む等、読書の質を高め長文を読む習慣を付ける。また、授業においては、資料や問題のキーワードに印を付けることを定着させる。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○ 朝食を摂り同じ時間に就寝する児童の割合を高め、規則正しい生活習慣を付けるために、保健だより、給食だより等で、専門的な立場から成長期における朝食、就寝時間等規則正しい生活の大切さを訴えていく。同時に、学校においても、学校通信、学級指導において生活リズムの改善にむけて機会を見つけて指導を行う。